

杉野原の御田の舞保存会が

伝統文化ポークラ賞を受賞しました

この度、国指定重要無形民俗文化財「杉野原の御田舞」の保存継承に取り組んで来た杉野原の御田の舞保存会が、第34回伝統文化ポークラ賞の地域賞を受賞しました。

伝統文化ポークラ賞とは、公益財団法人ポークラ伝統文化振興財団が、わが国の貴重な伝統文化の保存や継承に対し、優れた功績のある個人・団体を顕彰奨励するもので、今年度は全国各地より推薦された66件の中から優秀賞2件、奨励賞1件、地域賞5件が選ばれました。今年で35年目の活動をむかえる伝統ある賞ですが、和歌山県内の個人・団体が受賞するのは杉野原の御田の舞保存会が初めてとなります。

10月23日(木)に開催された授賞式には、保存会より松本博光会長をはじめ保存会の方々が参加し、有田



川町杉野原区の地域紹介や杉野原の御田舞の演技をまとめたVTRが上映されましたが、これほど丹念かつ克明に一年の稲作の次第を見せてくれる御田は全国でも他に例がなく、演技・構成も見事であると紹介されました。

保存会の松本会長による受賞の挨拶では、「今回の受賞は杉野原区区民一堂の喜びであるが、全国的に過疎化により無形文化財の保存継承が困難な時代にあつて、今回の受賞を励みとして今後とも頑張っていきたい」と述べられました。

今回の受賞を受けて、保存会の方々は「先人から受け継ぎ、自分達が守ってきたものが全国に誇れるものだと再認識した」という話も聞かれ、少子高齢化をはじめその継承には多くの課題がある状況ではありませんが、今回の受賞が今後の継承に弾みとなることが期待されます。

